

新型コロナウイルス感染症対策に伴う バドミントン活動ガイドライン

埼玉県バドミントン協会

令和2年6月13日

1 運動環境の確保

- 活動するにあたり、埼玉県及び各市町村の方針に従い、使用する施設の規定に従う。
- 参加者は練習当日の体調チェックを行う。(別紙「バドミントン活動時のチェックリスト」参照)
以下の項目に該当する場合は参加しない。
 - ・体調がよくない場合(発熱、咳、喉頭痛、味覚嗅覚障害など)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合。
 - ・入国制限や入国後の観察期間を必要とされる国、地域への渡航または該当者との濃厚接触者。
- 参加者名簿を作成する。(別紙「参加者名簿」参照)
 - ・新型コロナウイルス感染者が出た場合、保健所や医療機関への提出が必要で
活動終了後、最低1か月は保管する。
- 消毒液を用意し、常時利用できるよう設置する。
- 活動前・活動後の手洗いを徹底する。
- 運動・スポーツ中も、移動や待機といったそれ以外の時も感染予防の観点から、日常生活と同様に、周囲の人となるべく距離を空ける。
- 人との間隔を開ける(フィジカルディスタンス)ことは予防の観点からは約2m、最低でも1mの間隔を空けることが望ましい。
- 休憩中や周囲の人と会話をする際には、対面を避けて同様の距離をとる。
- ランニング・ウォーキングの時など意識的に通常時以上の距離をとるようにする。
- 飛沫拡散防止のため運動・スポーツ中に大声は出さない。
- 洗面所などでも唾や痰をはくことは極力行わずティッシュペーパーなどに包んで自身でビニール袋などに入れ持ち帰り処分する。
- 感染拡大防止のため、移動や休憩中にはマスク等を使用する。
- 呼吸困難や熱中症になるリスクがあるため、マスクを着用しての運動は行わない。
- マスク着用で熱がこもりやすいので、熱中症に注意する。
- 換気は常時行うことを基本とし施設内の換気施設使用や窓や扉などの開放し実施すること。常時換気が行えない時には定期的に換気を行い密閉状態を避ける。
- 練習環境によってコート内だけでなくコート周辺の人が多くなる時や、換気の効率が低い時には、練習場内で一度に活動する人数(1コート4名を目安)を決めて参加制限などを行った上で練習を行い、密な環境を作らない。
- 更衣室やシャワー室

2 バドミントン競技において注意すること

- ネット付近でのプレー（ヘアピンショットなど）は、距離感が近くなるので、注意する。一律禁止とはしないが、運動強度が高く飛沫感染のリスクがある場合には、練習メニューを考慮する。
- ダブルスでは、パートナーと接近する場面があるので、注意する。プレー間にインターバルを設けて消毒などの配慮をする。また、コート内での会話や接触は避け、コート外でマスク着用や消毒をした上で行う。
- シャトルの受け渡しの際にラケットを使用して手を極力使わないようにし、シャトルやシャトルに触れた手を顔に近づけないようにする。
- シャトルは消毒が困難なため、複数の者が同じシャトルを使用することを避けるようにする。
- ノックやシャトルおきなど不特定多数の人が触ったものを利用する際、ノックを行う人はビニール手袋等を使用するなどの対策を行う。
- タオルは床に置かない。
- 汗は床などに落とさずタオルを使用し拭きとる。
- 床の汗は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）。
- 練習の準備を行う際、ネットやポストなどの備品を消毒し、最小人数で行う（片づけの際も同様）。
- 練習中に使用するタオルやコップ等の共通利用や水分補給のドリンクタンク等の利用はせず、必ず一人一人が個人の物を準備し使用する。
- ラケットやシューズなどの道具は自分専用の物を準備する。やむを得ず共用の物を使用する時は、使用前後に消毒する。
- 使用した各自の着衣やゴミは必ずビニール袋等で封をしてそれぞれが個人で持ち帰る。

3 バドミンントンの段階的な活動実施フェーズ

段階	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
日程	5月25日～	6月19日～	7月10日～	8月1日～
参加人数	収容率50%以内	収容率50%以内	収容率50%以内	収容率50%以内
1コート人数	4人まで	4人まで	4人以上	4人以上
ダブルス練習	×	○	○	○
大会	×	×	×	○

※感染の状況に応じて、各STEPと日程は変更します。

バドミントン活動時のチェックリスト

活動前	
<input type="checkbox"/>	練習施設までのマスク着用を徹底する
<input type="checkbox"/>	練習前に検温を行い、体調に不安のないことを確認の上、指導者に報告をする (体調は個人差があります。無理に参加をしないこと)
<input type="checkbox"/>	参加者全員の体調を確認してから実施する(発熱者や体調不良者は練習に参加させない)
<input type="checkbox"/>	ネットやポストなど設備の消毒を行い、最小人数で準備を行う
<input type="checkbox"/>	タオルやドリンクは個人のもを用意し、各種用品の消毒を行う
<input type="checkbox"/>	換気を行い、換気の行うタイミングを決定・確認する
活動中	
<input type="checkbox"/>	練習時に過密になっていないか常に注意する
<input type="checkbox"/>	マスクはコート内練習以外ではなるべく着用する
<input type="checkbox"/>	ネットやポストなどの設備には触れない
<input type="checkbox"/>	コートに入っていない時、人との間隔(フィジカルディスタンス)を維持する(ラケット 2本で約 1.3m、3本で約 2m)
<input type="checkbox"/>	シャトルの受け渡しの際に手を極力使わない
<input type="checkbox"/>	シャトルを顔に近づけない
<input type="checkbox"/>	他人のタオルやドリンクなどには触らない
<input type="checkbox"/>	換気を定期的に行う
活動後	
<input type="checkbox"/>	ネットやポストなど設備の消毒を行い、最小人数で片づける
<input type="checkbox"/>	飲み残しの処理は適切場所で行うこと。(自宅に持ち帰るなどする)
<input type="checkbox"/>	帰宅経路中のマスク着用を徹底する
<input type="checkbox"/>	参加者の氏名・連絡先・体調報告を 1 ヶ月保管する

※指導者の方は、感染拡大防止を第一に考え、活動を行ってください。

参加者名簿

日時	年	月	日 ()	時	分～	時	分
大会名				会場名			
責任者 (連絡先)							

No.	氏名	チーム名	連絡先	チェック
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				